

令和7年11月実施 大津市立真野小学校<保護者アンケート>結果

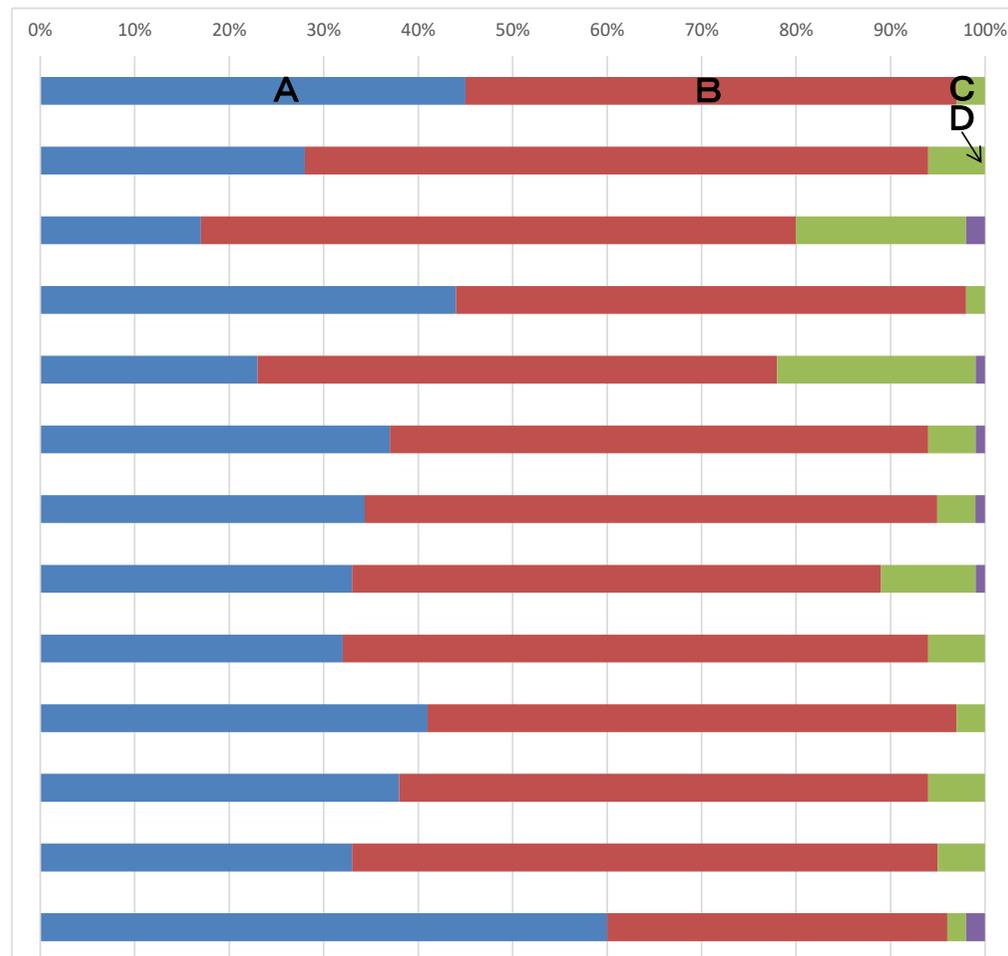
<調査回答保護者>

254名回答

<設問の答え>

A=よくあてはまる B=だいたいあてはまる
C=あまりあてはまらない D=あてはまらない

		A	B	C	D	評価
1	子どもは、明るく楽しい学校生活を送っている。	45	52	3	0	◎
2	学校は、学習内容が身につくように指導している。	28	66	6	0	
3	学校は、「家庭学習のアドバイス」を提示するなどして、家庭での学習に取り組めるようにしている。	17	63	18	2	
4	学校は、ベルスタ・もくもくそうじ・あいさつの指導に努めている。	44	54	2	0	◎
5	子どもは、家庭や地域で進んであいさつしている。	23	55	21	1	▲
6	学校は、いじめやめごとなどの問題に対して、素早く適切に対応している。	37	57	5	1	◎
7	学校は、命や人権を尊重する心、いじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てている。	34	60	4	1	◎
8	学校は、保護者にとって子どものことについて相談できる場になっている。	33	56	10	1	
9	学校は体を動かすよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲を育てている。	32	62	6	0	◎
10	学校は、授業や学級活動、体験活動、学校行事などを通して、互いに支え合う仲間づくりに取り組んでいる。	41	56	3	0	◎
11	学校は、保護者や地域団体と連携して、子どもの安全を守るよう努めている。	38	56	6	0	◎
12	学校は、家庭への通信配布、ホームページ、授業参観や個別懇談を実施し、学校生活について情報発信や連携に努めている。	33	62	5	0	◎
13	働き方改革の観点から、留守番電話対応や学校閉校日、各種たよりのペーパーレス化、定時退勤日など、業務内容の効率化、スリム化を進める取組は一定理解できる。	60	36	2	2	



<評価の基準> ◎ *よくあてはまる・だいたいあてはまる で90%以上かつよくあてはまるが30%以上のもの ... ◎

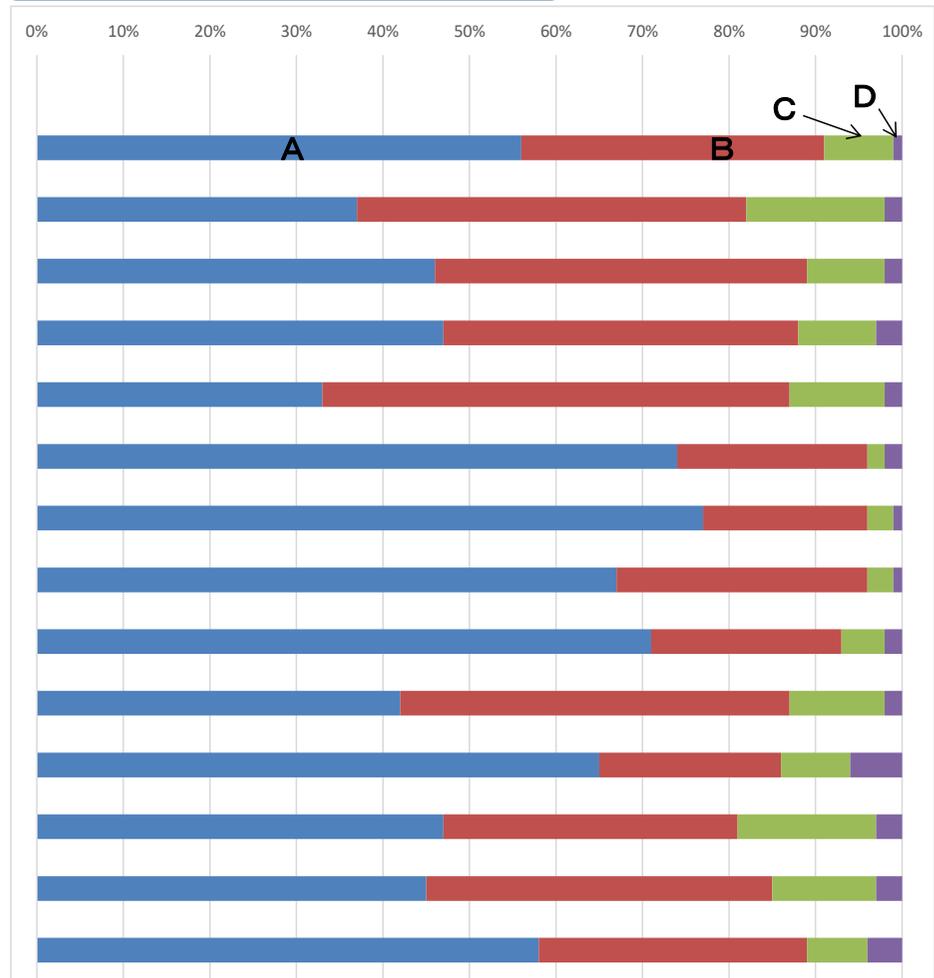
*よくあてはまる・だいたいあてはまる が80%未満のもの ... ▲

令和7年12月実施 大津市立真野小学校<児童アンケート>結果

<調査回答保護者>
 1年生以上で実施
 399名回答

<設問の答え>
 A=よくあてはまる B=だいたいあてはまる
 C=あまりあてはまらない D=あてはまらない

		A	B	C	D	評価
1	学校は 楽しい。	56	35	8	1	◎
2	自分には よいところがある。	37	45	16	2	
3	授業 では「めあて」にむけて 学習に取り組んでいる。	46	43	9	2	
4	自分は、学校の勉強がよくわかる。	47	41	9	3	
5	自分は「ベルスタ・もくもくそうじ・あいさつ」をしている。	33	54	11	2	
6	友だちと なかよくすごしている。	74	22	2	2	◎
7	いじめは どんな理由があっても いけないことだと思う。	77	19	3	1	◎
8	先生は いじめやこまったことがあったとき すぐに対応してくれる。	67	29	3	1	◎
9	こまったり しんぱいごとなどを 相談できる人がいる。	71	22	5	2	◎
10	人の気持ちをかんがえたり こまっている人をたすけたりしている。	42	45	11	2	
11	自分には ゆめや目標がある。	65	21	8	6	
12	体育の宿題や朝の体そうなど 進んで体を動かしている。	47	34	16	3	
13	友だちとの話し合う活動をととして 自分の考えを伝えたり 深めたりしている。	45	40	12	3	
14	ゲームやスマートフォン、タブレットの使い方など 家の人との約そくを守っている。	58	31	7	4	



<評価の基準> *よくあてはまる・だいたいあてはまる で90%以上 かつ よくあてはまるが30%以上のもの ... ◎

*よくあてはまる・だいたいあてはまる で80%未満のもの ... ▲

〈成果と課題〉

・今年度も昨年度と同様に児童アンケート「学校は楽しい」「友だちと なかよくすごしている」、保護者アンケート「子どもは、明るく楽しい学校生活を送っている」では、肯定的な回答が90%以上であり、全体的には児童が楽しく学校生活を送っていると思われます。さらに児童理解に努め、「安心と笑顔あふれる」学校づくりを進めていきます。

・児童アンケート「自分は、学校の勉強がよくわかる」、保護者アンケート「学校は、学習内容が身につくように指導している」では、肯定的な回答が約90%あります。今後も、言語活動の充実、一人一台のタブレットの効果的な活用を通し、分かる授業づくりや学ぶ楽しさが実感できる授業づくりに取り組み、主体的に学び続ける児童の育成に努めていきます。

・保護者アンケート「家庭学習のアドバイスを提示するなどして、家庭での学習に取り組めるようにしている」では、昨年度より、肯定的な回答が高く、引き続き「家庭学習のてびき」を活用し、来年度も、家庭での学習に取り組めるように、啓発していきます。

・保護者アンケート「子どもは、家庭や地域で進んであいさつしている」では、今年度もまだ十分ではないと考えている割合が高かったです。一方、保護者アンケートと児童アンケート「『ベルスタ・もくもくそうじ・あいさつ』を している」では、十分だと考える回答が約90%で高く、ベルスタ・もくもくそうじの様子はずいぶん良くなったなと感じていますが、あいさつに関しては、進んで行う姿が学校や地域や家庭の中でも見られるように、引き続き指導を続けていきます。

・保護者アンケート「学校は、いじめやめごとなどの問題に対して、素早く適切に対応している」「学校は、命や人権を尊重する心、いじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てている」、児童アンケート「先生は いじめやこまったことがあったとき 素早く対応してくれる」では、昨年度同様に肯定的な回答が90%以上あります。引き続き、いじめのない学校づくりを基本に、未然防止・早期発見に努め、事案が発生した際には、早期対応に努めていきます。

・児童アンケート「こまったり なやんだりしたときに そうだんできる人がいる」、では、肯定的な回答が90%以上あります。しかし、児童、保護者の中には「やや相談しにくい」「相談しにくい」と捉えている方もいらっしゃいます。日ごろから家庭との連携を図りながら、教育相談週間や個別懇談会や学級懇談会の機会をもち、学校が児童、保護者にとって相談しやすい場となるよう努めます。

・保護者アンケート「学校は、保護者や地域団体と連携して、子どもの安全を守るよう努めている」では、昨年度に比べ肯定的な回答が90%以上あります。今年度より、個別登校になりましたが、保護者様や地域の方の支援をいただきながら「安心・安全な学校」の実現に向けて努めてきました。引き続き来年度も定期的な交通安全教育と都度の安全指導を行います。また、通学路の安全点検、登下校のトラブルに対する問題解決に努めます。今後も地域とともにある学校を目指していきます。

〈自由記述について〉

自由記述の主なものは、「通信やtetoru等の情報提供」「施設・設備面」「学校行事(運動会・修学旅行)」「日課表(給食の時間)」「子どものやくそく」についてでした。トイレ改修など施設・設備については、安全を最優先に長寿命化工事を待たずに学校としても市へ要望していきます。また通信等の情報提供や学校行事については、教育目標を達成するために最良な在り方を検討しつつ、来年度の計画に生かしていきます。

また、教職員への心温まるメッセージをいただけたこと、深く感謝申し上げます。教職員一同を使命感をもって、日々の指導に邁進していきます。いただいたご意見は、次年度の教育活動に活かしていきたいと考えております。ありがとうございました。